

官庁統計などに基づいた小地域類型に関する研究（共同研究番号：111）

共同研究報告書（2012 年度）

共同研究代表者：矢野桂司（立命館大学文学部）

共同研究員：中谷友樹（立命館大学文学部）

磯田弦（東北大学理学部）

桐村喬（立命館大学衣笠総合研究機構）

概要

本研究は、主として官庁統計を利用して小地域単位の地区類型を作成するとともに、その利活用に関する可能性を検討することを目的としている。本年度は、共同研究によるデータに加え、東京都が独自に集計・公開している小地域統計も用いて、東京 23 区の国籍別の外国人集住地区を抽出し、その社会経済的な属性を 2005 年の国勢調査結果に基づく小地域単位の居住者の地区類型から検討した。下図は、2005 年時点で抽出された外国人集住地区との、空間的な対応関係が強い居住者類型の分布を示している。これらの分析の結果、欧米系とアジア系などの国籍間での明瞭な社会経済的属性の差だけでなく、ニューカマーとオールドカマーの違いによる国籍内の社会経済的属性の差異も確認された。

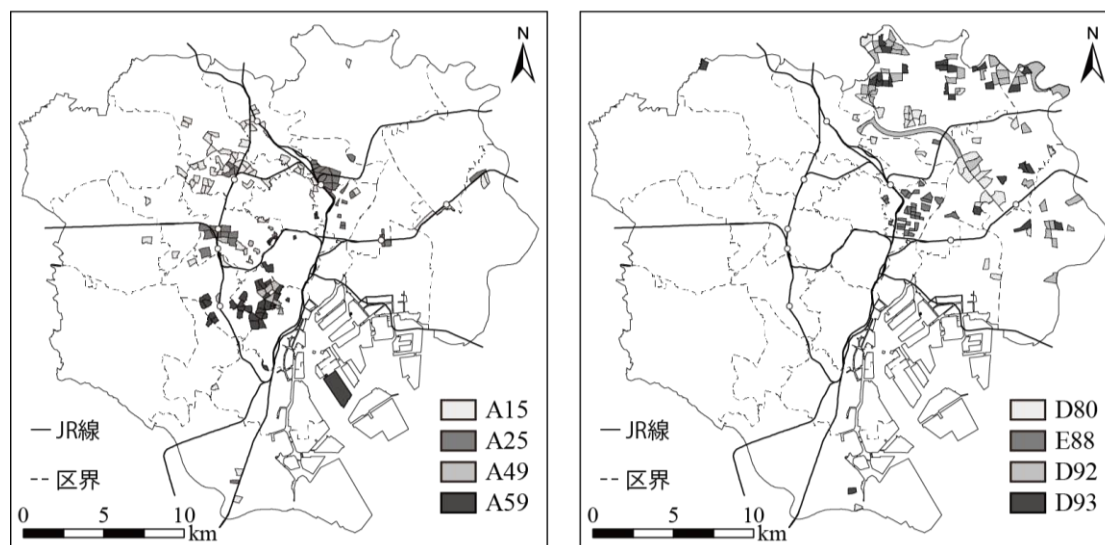


図 外国人集住地区との空間的な対応関係の強い居住者類型の分布

関連する業績

桐村 喬「居住地域構造との関係からみた東京 23 区における国籍別外国人集住地区の社会経済的特徴」, 人文地理 65(1), 2013, pp. 29-46.